

第 3 回日野市指定管理者市民評価委員会議事要点録

日時	平成 30 年 5 月 22 日（火）午後 1 時 30 分～午後 4 時 20 分
場所	市役所 5 階 507 会議室
出席者	彦谷委員長、吉澤副委員長、高橋委員、坪島委員
議題	1. 評価 (1) 日野市地区広場及び日野市遊び場 株式会社 日野市企業公社 の報告、質疑、採点 2. 評価 (2) 日野市立八ヶ岳高原大成荘 株式会社 日野市企業公社 の報告、質疑、採点 3. 全体まとめ
	●評価の内容 ・指定管理者による報告 10 分 ・市民委員からの質疑（回答：指定管理者） 20 分 ・市民委員からの質疑（回答：主管課） 10 分 ・まとめ（採点） 10 分
議題 1	●評価 (1)日野市地区広場及び日野市遊び場 ：指定管理者（株式会社 日野市企業公社）による報告 ＝主な質疑（指定管理者）＝ （質問） 全ての地区広場・遊び場に看板はついているか。 （回答） 木の板で同じ形の看板をつけている。 （質問） 田中こどもひろばの法面の防草シートは効果があると思うが、全面に張れないか。他の広場も法面など除草する所が多いのではないか。 （回答） 除草する面積が大きく草刈に少し危険が伴うため、防草シートを張った。原則は草刈なので、限られた予算の中で対応した。 （質問） 遊び場と地区広場は何ヶ所あるか。 （回答）

	指定管理者で管理している地区広場は 7 ヶ所、遊び場は 6 ヶ所の合計 13 か所である。 (質問) 13 ヶ所はそれぞれどうなっているか。それぞれの場所についてどういうレベルの管理になっているか。全部同じではないのではないか。 (回答) 13 ヶ所のバランスを見ている。草の繁茂の状況、トイレの状況、塗装の状況やフェンスの修理など、全体的な中で優先順位度の高い順に適宜行っている。砂場の砂ほぐしについては、巡回員が回るようになり、指定管理者制度導入前より良くなっている。管理している施設を変えるのではなく、快適で安全に維持するという形で管理している。 (質問) ほどくぼ地区広場は良く手入れされている。山道を通って駅に向かうが、ハチの巣が見つからないのは、よく点検できているからだと思う。時々、土曜や日曜に子供が遊んでいるのを見る。地区広場にトイレがないので、保育園のトイレは利用できないか、という話も聞くが、そんな話はないか。 (回答) 管理している施設のみの対応のため、周りの施設の把握はできていない。 (質問) 平成 29 年度事業報告書の中で棲み分けができず赤字になったとあるが、どのような処理だったのか。 (回答) 基本的に大規模な樹木の伐採は市、指定管理者は維持管理的なものという住み分けと認識している。市が出資している株式会社なので、会社の収支は、全体の事業の中で赤字になれば、ある程度の収支が見込まれればそこに資本を投下する。市の財政状況が厳しいので、大きな樹木を切ったり、ネットフェンスの修理をしたり、今回はかなりそこに注ぎ込んだ。結果として赤字になったが、会社全体としては黒字になっている。 (意見) 事業として独立してみるのも、本来は赤字にならないように予算をもらうとか、計画的に予算執行すべきではないか。管理費など必要なものはもっと取って良いのではないか。施設管理費が予算上 0 (ゼロ) になっているが、直営作業があるのだから予算をここに入れて支出しないといけない。リース料が毎年予算上 308,000 円あるが、決算額が 4 年間全部 0 (ゼロ) になっているのは、運用上おかしい。次のときは、この 2 つは主管課を含めて対応を検討して、赤字が出ないようにすべきだ。 (回答) これは単体で本来やるべき事業であるが、実務的な部分で民間業者がやらないところを企業公社が行う場合も何ヶ所もある。このようなところは各課に予算要求しているが、現実
--	--

	的には予算が取れない。今後は適切に実施するように改善していく。 (質問) 地区広場と遊び場の点検表は同じものか。 (回答) 概ね同じだが、チェック項目に若干の違いがある。例えば、遊び場には遊具があり、遊具のチェック項目がある。地区広場には遊具がなく、園内灯があるので、園内灯のチェック項目がある。 (質問) 利用者数について、毎回巡回する時間帯で場所が同じであれば、特定の時間しか拾えないと考えるが、どうか。 (回答) 全く同じ時間ではない。作業の段取りで行うので、時間帯は変わっている。 (質問) 住所不定者というのは段ボールハウスやシートを張るなどして住んでいる人のことか。実際に注意や撤去などあるか。 (回答) 公園に近いところなのでベンチがあり、住所不定者等か確認するよう市から言われているが、今のところいない。 (質問) 緊急時の対応について連絡網が書かれているが、水銀灯が倒れた事しか書かれてない。他には具体的にあるか。 (回答) 事故的なことはない。 (質問) 高木剪定は、地区広場や遊び場は時間が経って大きい木があるので、主管課との話になるが、現場から市へ声を出してもらう必要があるのではないか。木を見ると凄いで、シルバー人材センターへ依頼しないで、業者に依頼すべきである。草があるから除草するわけで、砂になっていれば除草はいらない。 (回答) そもそも地区広場はその成立ちが違っていて、例えば、かしまだい地区広場のような何も手を入れない地域の場合、広場的なコンセプトで造ったもの、かたや、始めから砂を入れる広場もあり、それらが一つの課に寄せ集められて、今の発言のように差がでている。
--	---

～指定管理者退出後～

＝主な質疑（主管課）＝

（質問）

事業報告書の利用者数の年間合計について、受け取ってどのような評価をしているか。

（回答）

24 時間張りついているわけではなく、行っている時間の中でそれを 24 に直した計算式として認識している。指定管理者が行う業務の範囲に、利用者数の調査まで入っていないので、目安として受け止めている。週に 1 回行っている中での数字なので、そう現実とかい離している数字ではないと受け止めている。

（質問）

犬の散歩が多いが、犬のフンの対応ができているのか。看板はあるが、人がいないのでフンがしやすい環境ではないかと思う。そのような所を見て注意する文言にしないといけないのではないか。福祉センター前児童遊園は、みんなが見ているところなので安全だが、田中こども広場は子供が行くと思うと心配である。

（回答）

田中こども広場は、運動するためにまとまった広場が無く、民地を無償で借りているので、ご高齢の方がゲートボールを定期的に行ったり、子供達がサッカーをしたりして遊んでいる。

（質問）

熱中症対策として、13 ヶ所中に水道が何か所ついているか。前回の評価委員会の時に水飲みの対応と横町児童遊園に人感センサー設置の要望がでているかどうか。

（回答）

民地もあるので、地区広場は 7 ヶ所中 4 ヶ所、遊び場は 6 ヶ所中 1 ヶ所設置されている。

（意見）

年間の利用者が少ないのに、そのために新たに水飲み設置するのもどうかと考える。

（回答）

トイレや水飲みの関係は誰が使うかというのがあり、多くの人が広く集まる施設、大きい公園には必ずトイレや水飲みがある。

（質問）

13 ヶ所の広場に平均にお金をかけるわけではないので、それぞれ地形特性があり、それに対してどうしたかがわからないと、作業項目一覧表をもらっても、それに対して判断できない。特性を持っているところが何か所あって何ヶ所できたという、うまく管理できているかがわかるデータが欲しい。

（回答）

常時開放なので、そこが安全でいつでも使える状態が保たれるのが、大前提であり、そこ

議題 2	が到達目標となり毎週 1 回管理している。いつ来ても安全に使ってもらう状態が保たれている。 (質問) しっかり出来ていると思うが、もっとお金をかければ良くなるのか、お金が少なくできるのかこれではわからない。良い公園ができるなら、もっとお金をかければ良い。 (回答) 常時安全な形で快適に使えるという部分については、過度なサービスでなく必要最小限のサービスで、近所の方が休むときに不快なく利用できるサービスである。 (質問) 一定のレベルにあると思う。指定管理者の仕事を評価すると言ってもどのような状態かわからない。 (回答) 利用者の満足度や利用者増減を調査するところまで市は把握できてないが、市に苦情が無い。指定管理者の連絡先が表示されている中ですぐに対応しているので、指定管理者に関する苦情は一切ない状況である。 ＝まとめ（採点）＝ ●評価 (2)日野市立八ヶ岳高原大成荘 ：指定管理者（株式会社 日野市企業公社）による報告 ＝主な質疑（指定管理者）＝ (質問) 夏の宿泊予約は抽選で全て埋まるのか。年間 50%程度の稼働率だが、どの程度になれば目標利用者数に達するのか。 (回答) 抽選段階では半分以上が埋まる。その後の空室は電話で予約受付している。目標利用者数まであと 1,000 人ほどである。稼働率は 60%弱程度あればと見ている。 (質問) 他市では、行政とタイアップしたツアー企画などがある。移動手段を持たない高齢者などに向けて行ってみてはどうか。 (回答) かつて市民交流バスツアーを実施していたが、参加者が固定化されてきたため、役割を終
-------------	--

	えたとみて現在は行っていない。商工会との連携で、会員の大成荘利用時に助成をつけていただいている。また周知にも効果がある。 （意見） アレルギーや異物混入の事故があったが、食の安全にはより一層気を付けていただきたい。 （回答） 事故発生の際は、現場へすぐに行き、対応した。アレルギー食材については、メニュー表やプレートを掲示して強調するようにして改善し、再発防止に努めている。 （質問） アレルギー事故の際、事前に申し出はあったのか。 （回答） 事前に申し出ていただいていたが、配膳の手違いで発生してしまった。その場でご家族が処置し、大事に至ることはなかった。 （質問） 施設のいちばんの課題は、稼働率向上とみてよいのか。日野市外の学校の利用があるが、PRをしているのか。 （回答） 市外の学校からの利用の多くは、先生同士のクチコミがきっかけと伺っている。 （質問） 水道光熱費決算が予算より低額になっているが、節電などの努力によるものか。収支が赤字から黒字に転じているなか、本社管理費は少ないが、商売にならないのではないか。 （回答） 照明の LED 化を進めたことや、漏水していた浴槽の修繕の効果もあると思われる。平成 30 年度からは市の契約で特定規模電気事業者を導入した。協定書で、予算額との大きな差が出た場合は市と協議することとしている。余剰分は、老朽化の進む施設修繕へ振り分けるなど、バランスを見ながら対応していく。また本社経費はこの中に入っていない。次回からは予算積算の見直しを予定している。 （意見） 施設の管理運営はうまくやっていると思う。集客については、事業の効果や継続性など本社で状況の把握をすべきだ。成人式で配布している優待券などは、結果、何人利用があったか検証が必要である。また酒類などとても安価で提供されているが、もう少し利益を出す方向でも良いのではないか。大成荘の PR は目にするし、努力されていると思う。あとは結果につなげていただきたい。 （意見）
--	--

	市外の学校などのリピート利用はあるか。そこから集客につなげていけたら良い。 (回答) ここ何年かは、同じ学校に続けて利用いただいている。 (意見) 保育園行事や高校の合宿などにも利用されるよう、PR をもっとあちこちに広げてはどうか。 (質問) 地元団体によるお話会を開催しているが、いきさつはどういうことなのか。 (回答) 現地社員の人脈から、ボランティアで協力いただいている。突発的な開催で、紙芝居や人形劇など小規模な会だが、参加者にはご満足いただいている。 ～指定管理者退出後～ ＝主な質疑（主管課）＝ (質問) 主管課として、この実績は、どう評価しているか。 (回答) 平成 27 年度は利用者数 1 万人を超えた。近隣の自治体宿泊施設と比べて稼働率が低いわけではない。ただ市民のなかにも、施設の存在を知らなかったという声もあり、まだまだ周知は必要であると考え。 (意見) 例えば他市で実施しているバスハイクなどは、市外在住者も歓迎としているものもあり、集客につながっている。そのような努力をしていただければと思う。 (回答) 指定管理者との打ち合わせにバスハイク案をのせているが、実現には至っていない。 市外からは、学校の移動教室や特別支援学級の宿泊訓練などにご利用いただいている。全体の約 3 割が、市外も含めた、学校教育活動や社会教育活動の団体利用である。 (質問) 高齢化で遠出が難しくなり、今後利用者は減っていくと思われる。周辺の宿泊施設との連携はどうか。 (回答) 同じ学校寮地区に宿泊施設を持つ自治体や学校等で協議会を運営している。大成荘にはスポーツ合宿に使えるグラウンドや体育館が無いが、協議会内で連携して、互いの施設や設備を利用し合えればと思う。炊飯器や浴室機械設備の故障時などの助け合いは、既にできている。
--	--

議題 3	(意見) 報告書からも地元の方とのつながりは見られるので、なお一層協力して集客につなげていただきたい。体育施設が無い点が、大成荘の弱いところである。近隣施設や地元小学校などと協力できれば、夏場の合宿などで稼働率が上がると思う。 (意見) 今後も大成荘は生涯学習課の主管でいくのか。指定管理者の集客は一般市民向けで、旅館業が中心となっているように見える。教育施設なら方向が違うのではないか。集客よりも、市民の生涯学習の場として考えるべきではないか。 (意見) 団体利用を増やしていくことに重点を置いて考えてはどうか。 (意見) 宿泊にこだわらず日帰り学習会でもよい。収益でなく、学習活動の充実に目を向けてはどうか。自然体験や山登り、スポーツなど、社会教育の環境はある。 (意見) 予算の取り方については、実態に合った形で、内容をよりわかりやすくなるよう指導をしていただきたい。指定管理者の選定には期待値を入れるとしても、評価はもっと厳しくして、より頑張ってもらえるようにしていかないと前に進まない。 (回答) 管理運営や集客については、指定管理者と主管課とで毎月面談し、指導や提案をしている。 (意見) 施設の修繕は今後増えていくと思うが、修繕計画に沿って今後対応していくのか。 (回答) 修繕は、計画をもとに現状を見ながら進めていく。 ＝まとめ（採点）＝ ●全体まとめ 今回の市民評価委員会は、平成 26 年度に指定管理者制度を導入した施設について、指定期間 5 年間のうち、既に終了している平成 26 年度から平成 29 年度の 4 年間の実績を基に審査・評価を行った。委員会では、指定管理者に対する質疑応答、主管課に対する質疑応答を行い管理・運営についてチェックした。 評価にも上げたが、どの指定管理者も、概ね一定の成果を上げており、一生懸命に様々な努力していることが感じられ、評価することができる。しかし、毎年支出があるものに予算がつけられていないなど収支状況が精査されておらず、より良い経営を目指す意識が
-------------	--

低い等、いくつか改善点も見受けられた。

協定期間は残り少なくなったが、意見、要望として取り上げたいいくつかの点についても積極的に取り組んでいただき、更なる市民サービスの向上に努めていただくことを希望する。

この他、審査の質疑応答の時間を増やすことや指定管理料に応じて評価時間を変えることを検討していただきたい。また、全ての施設の B 評価（施設ごとの評価）に稼働率については必須にすべきと考える。

～第3回日野市指定管理者市民評価委員会終了～